日立建機

適用範囲		モデル名			ZX225US-5B	ZX225US-6	ZX225USR-3	ZX225USR-5B	ZX225USR-6	ZX240-5B	ZX240-6	ZX280-5B	ZX300-6	ZX330-5B	ZX330-6			
		適用号機			DCNA0-300641～	DFBA0-500376～	1U5-200016～	DCQA0-300716～	DFCA0-500408～	DCAA0-030228～	DC1A0-050075～	DDAA0-040318～	DDNA0-060126～	DDDA0-070298～	DDQA0-080128～			
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	検査基準値					検査基準値								
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度																
		ハイアイドリング		min^{-1}	1800±50	1800±50	1800±50	1800±50	1800±50	1900±50	1900±50	2000±50	1800±50	1800±50	1800±50			
		ローアイドリング		min^{-1}	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50	800±50			
		（冷却水温）		(℃)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)	(50以上)			
		（作動油温）		(℃)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
		弁隙間																
		吸気弁　隙間		mm	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4			
		排気弁　隙間		mm	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4			
		（測定条件）		(℃)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)	(冷間時)			
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差		MPa	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2	3.04±0.2			
				kg/cm^2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2	31±2			
		（冷却水温）		(℃)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)	(暖気運転後)			
		（回転速度）		(rpm)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)	(セル回転)			
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力		MPa	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール	コモンレール			
				kg/cm^2														
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り［測定位置・条件］		mm	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間	5～6 ファン～オルタネータプーリ間			
		kgとNの両方で表記		(kg)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)	10kgf(98N)			
走行装置	走行性能	最高速度　ゴム［測定方法・条件］		秒/3回	— 17.2±2.0 ジャッキアップし空転	— 17.2±2.0 ジャッキアップし空転	— 17.2±2.0 ジャッキアップし空転	— 17.2±2.0 ジャッキアップし空転	— 17.2±2.0 ジャッキアップし空転	— 17.6±2.0 ジャッキアップし空転	— 17.6±2.0 ジャッキアップし空転	— 33.7±2.0 ジャッキアップし空転	— 33.7±2.0 ジャッキアップし空転	— 32.6±2.0 ジャッキアップし空転	— 32.6±2.0 ジャッキアップし空転			
		鉄［測定方法・条件］																
	履帯（クローラベルト）	ゴムベルト	張り（たわみ量）測定方法・条件（図面番号表示）	mm	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			
		鉄シュー	張り（たわみ量）測定方法・条件（図面番号表示）	mm	300～335 (図番B-001)	300～335 (図番B-001)	300～335 (図番B-001)	300～335 (図番B-001)	300～335 (図番B-001)	300～335 (図番B-001)	300～335 (図番B-001)	340～380 (図番B-001)	340～380 (図番B-001)	340～380 (図番B-001)	340～380 (図番B-001)			
			リンクピッチの伸び（測定方法・条件）	mm	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
			履板取付けボルト締付けトルク	N・m	804	820	804	804	820	804	804	804	1128	1128	1128			
				kg・m	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	82 トルクレンチ	80.4 トルクレンチ	82 トルクレンチ	112.8 トルクレンチ	115 トルクレンチ	112.8 トルクレンチ			

★印：新車基準値を表す。

日立建機

適用範囲		モデル名		ZX225US-5B	ZX225US-6	ZX225USR-3	ZX225USR-5B	ZX225USR-6	ZX240-5B	ZX240-6	ZX280-5B	ZX300-6	ZX330-5B	ZX330-6			
		適用号機		DCNA0- 300641～	DFBA0- 500376～	1U5- 200016～	DCQA0- 300716～	DFCA0- 500408～	DCAA0- 030228～	DC1A0- 050075～	DDAA0- 040318～	DDNA0- 060126～	DDDA0- 070298～	DDQA0- 080128～			
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値													
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置	mm	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150			
		（測定時間）	（分）	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)	(5)			
		（作動油温）	（℃）	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
		作業装置姿勢 （図面番号表示）		（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）			
	シリンダー自然伸縮	ブームシリンダー	mm	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量			
		アームシリンダー	mm	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦20 伸び量	≦30 伸び量	≦30 伸び量			
		バケットシリンダー	mm	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量	≦20 縮み量			
		ブレードシリンダー	mm	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量	— 伸び量			
		作業装置姿勢 （図面番号表示）		（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）	（図番C-001）			
		（測定時間）	min	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
		（作動油温）	（℃）	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)	(50±5)			
	作業機速度	ブーム上げ	sec	3.1±0.3	3.5±0.3	3.1±0.3	3.5±0.3	3.5±0.3	3.6±0.3	3.6±0.3	4.1±0.3	3.7±0.3	3.3±0.3	3.3±0.3			
		作業装置姿勢 （図面番号表示）		（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）	（図番D-001）			
		アームシリンダー伸ばし	sec	3.3±0.3	3.3±0.3	3.2±0.3	3.3±0.3	3.3±0.3	3.4±0.3	3.4±0.3	3.7±0.3	3.7±0.3	3.7±0.3	3.9±0.3			
		縮め	sec	2.6±0.3	2.7±0.3	2.5±0.3	2.7±0.3	2.7±0.3	2.7±0.3	2.7±0.3	3.0±0.3	3.3±0.3	2.6±0.3	3.2±0.3			
		作業装置姿勢 （図面番号表示）		（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）	（図番E-001）			
		バケットシリンダー伸ばし	sec	3.1±0.3	3.0±0.3	3.0±0.3	3.0±0.3	3.0±0.3	3.4±0.3	3.4±0.3	3.4±0.3	3.4±0.3	3.7±0.3	3.7±0.3			
		縮め	sec	2.1±0.3	2.1±0.3	2.0±0.3	2.1±0.3	2.1±0.3	2.4±0.3	2.4±0.3	2.5±0.3	2.5±0.3	2.6±0.3	2.6±0.3			
		作業装置姿勢 （図面番号表示）		（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）	（図番F-001）			
		性能測定条件 （荷重･設定モード等）		荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル	荷重無し， ハイアイドル			
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3	34.3			
			kg/cm²	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350			
		性能測定条件 （エンジン：定格回路） （油温：50±5℃）		ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル	ハイアイドル			
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウターレース取付けボルトの締付けトルク	N･m	510	510	510	510	510	640	640	640	640	1250	1250			
			kg･m	51	51	51	51	51	64	64	64	64	127	125			
		インナーレース取付けボルトの締付けトルク	N･m	490	500	490	490	500	715	715	715	715	1250	1230			
			kg･m	49	50	49	49	50	71.5	71.5	73	71.5	127	125			
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モーター取付けボルトの締付けトルク	N･m	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90			
			kg･m	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9			
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N･m	500	500	500	500	500	650	640	650	650	640	650			
			kg･m	50	50	50	50	50	65	65	65	65	65	65			

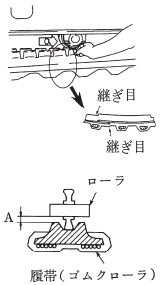
★印：新車基準値を表す。

日立建機　　令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		ZX240-5B
		仕様		
		適用号機		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
エンジン本体	クレーン時のエンジン回転速度	エンジン回転速度 クレーンモード (冷却水温) (作動油温)	 min-1 (℃) (℃)	 1400±35 (50以上) (50±5)

A．ゴム履帯の張り（たわみ量）測定方法

図番A－００１

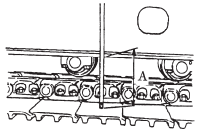


張り量を測定する履帯を、上図のようにして浮かせ、ゴムローラの継ぎ目が中央にくるようにしてください。下ローラ転動面と履帯の踏面とのすき間を測り、すき間：A寸法が適量であることを確認します。

このとき、持ちあげた機体は木製ブロック（コンクリート製は不可）などで確実に支持してください。

B．鉄製履帯の張り（たわみ量）測定方法

図番B－００１



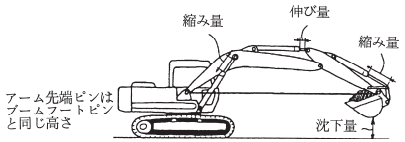
張り量を測定する履帯を、上図のようにして浮かせ、シューの上側とサイドフレームの下側の間の寸法を測ります。

このとき、持ちあげた機体は木製ブロック（コンクリート製は不可）などで確実に支持してください。

また、点検はトラック回りに付着している土砂を完全に取り除いてから実施してください。

C．作業機沈下量及び各シリンダ自然伸縮量測定方法

図番C－００１



バケットに基準荷重を入れ、機体の姿勢を図のようにし、エンジンを停止してください。

規定時間経過後、各シリンダの伸びまたは縮み量及び、バケット底面でフロント全体の沈下量を測定してください。

測定は３回行ない、平均値を求めて下さい。

このとき、アームシリンダとバケットシリンダはストロークエンドから20～50㎜もどし、余裕ある位置にセットしてください。

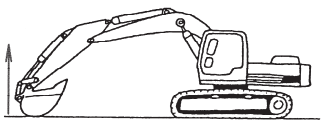
バケット内の基準荷重は、土砂を満杯にするか、ウエイトを入れてください。

ウエイト質量（W）は、次の計算式で求められます。

W＝標準バケット山積容量×1.5（土砂の比重）

D．ブーム上げ速度測定方法

図番D－００１



アームシリンダを最縮長、バケットシリンダを最伸長にして、機体の姿勢を図のようにしてください。

エンジン回転を最高にして、ブーム作業レバーを上げ方向にフルストローク操作し、ブームシリンダが伸びきるまでの時間を測定してください。

バケットは空荷で測定を行なってください。

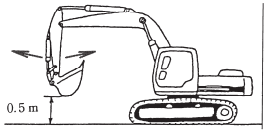
【注意】

各シリンダの動作時間の測定時は、フロントの作業範囲内に、他の作業者や通行人が立ち入らないよう注意してください。

また、建物や車両などに可動部分が接触しないよう、一度ゆっくりとフロントを動かし、確認をしてから測定を行なってください。

E．アームシリンダ伸ばし及び縮め速度測定方法

図番E－００１



バケットシリンダを最伸長にして、アームの中心を地面に対して垂直にしたとき、バケット底部と地上との間隔が約0.5ｍになるようにブーム高さを調整してください。

エンジン回転を最高にして、一度アームシリンダをいっぱいに縮め（伸ばし）、アーム作業レバーを掘削（放土）方向にフルストローク操作し、アームシリンダが伸び（縮み）きるまでの時間を測定してください。

バケットは空荷で測定を行なってください。

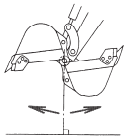
【注意】

各シリンダの動作時間の測定時は、フロントの作業範囲内に、他の作業者や通行人が立ち入らないよう注意してください。

また、建物や車両などに可動部分が接触しないよう、一度ゆっくりとフロントを動かし、確認をしてから測定を行なってください。

F．バケットシリンダ伸ばし及び縮め速度測定方法

図番F－００１



バケットの全ストロークの動作の中央が垂直になるような位置にブーム、アーム各シリンダを調整してください。

エンジン回転を最高にして、一度バケットシリンダをいっぱいに縮め（伸ばし）、バケット作業レバーを掘削（放土）方向にフルストローク操作し、バケットシリンダが 伸び （縮み） きるまでの 時間を測定してください。

バケットは空荷で測定を行なってください。

【注意】

各シリンダの動作時間の測定時は、フロントの作業範囲内に、他の作業者や通行人が立ち入らないよう注意してください。

また、建物や車両などに可動部分が接触しないよう、一度ゆっくりとフロントを動かし、確認をしてから測定を行なってください。